全国修学旅行研究協会主催「第41回全国修学旅行研究大会」討論

これからの修学旅行を考える―コロナ禍を経て

アレルギー対応は一番の問題　井上氏
最適な学びに向け柔軟な選択　増山氏
メリットが大きい連合体輸送　岡田氏

増山氏

井上氏

岡田氏

関口氏

討論に耳を傾ける来場者

関口　今、安全安心ということも出た。命に関わるということでもあり、アレルギーの対応というのは今すごく大きなウェイトを占めている。受け入れの立場ということで井上社長から食物アレルギー対応についてお話いただけますか。

井上　アレルギー対応は今、京都の施設全体ではないが、大きく分けて代替食と除去食と二つの方向性で動いている。その中で、比較的除去食が多くなってきた気がしている。アレルギーは今一番の問題であり、人が何人も取られているという状況。京都府、京都市と一緒に含めて「食物アレルギー事前調査票」というものを作った。これは京都府立大学の先生や、給食を用意する方や現場の先生方、オブザーバーの旅行会社、われわれ旅館施設や途中休憩や昼食などの観光系の皆さまと話し合って作ったのは、10年以上前。その時はまだ7品目除去だったが、今は28品目除去だ。でも、そのために栄養士を置いたりすることは今のこの世の中では不可能だ。

それとアレルギー対応に関して、保護者、学校の先生、旅行会社、われわれ施設の4者が絡んで今動かしているが、四つの中で、施設に入ってくるアレルギーの情報が非常に遅い。旅行会社からわれわれに入ってくるのも本当にギリギリだ。旅行会社に電話で急かすと、学校からまだまだ入ってないとかということで、1週間ぐらい前、ほんと直近というのもある。それでは対応できないのが現実だ。28品目では収まらないことが出てくると思うが、これ以上求められても無理だ。修学旅行の大事な生徒を受け入れるのだから一生懸命やるが、なかなか難しい問題だ。

増山　急に災害等で延泊や車中泊になってしまったときの安全・安心の中にアレルギーというのがあって、災害とアレルギーというのはものすごく重大なことになる。昨年度、先ほどご紹介した宇都宮の中学校は約300人で修学旅行に行って、新幹線車中泊ということになった。車中泊になって次の日の朝までの間に何とか提供できたのは、おにぎり1個とお茶1本だ。なので、アレルギー対応とか栄養とかそういうものも全然ない。そういう問題ではない。とにかく空腹を満たさなければならないということ。それはどうしてかというと、結局、集中豪雨や地震などが起きるとその沿線に住んでいる方がまずスーパーやコンビニに買い占めに行くので、いくら旅行会社が支店や本店から人を派遣しても、まず現地に来られない。新幹線は動いていないので在来線も場合によっては止まるので、去年の場合は、とにかく旅行業者は一生懸命やられたのが、結局途中までしか来られなくて現地には到着できない。なんとか先生方も含めて新幹線から許可が出て下ろしてもらって買い物に行ったときにはもう何も売ってないという状況だ。それでも、旅行業者があちこちの支店に声をかけて集まったのがおにぎり1個、飲み物1本、これが朝までの食事だ。なので、さらにそこに重度のアレルギーの子どもがいた場合には、とんでもないことになるから、場合によると食べるものを持って歩かなければいけないかもしれない。そこまでやらないとそういう重篤な子についての対応はできない。これは各学校で考えておかなければならない。

関口　働き方改革で人手不足と言われるが、受け入れ側の方からで言うとこんな部分で人の動きが少し変わってくるということも少しこの機会にお話を伺いたい。

井上　われわれ京都の施設は本当に人手不足だ。このまま旅館をやっていく中でアレルギーや人手不足でサービスができないという状況がそんなに遠い話ではないのではないか。最大70軒ぐらいあった修学旅行に特化した旅館が今46軒しかない。3分の2ぐらいになっている。

それで、学校の先生方にお願いだが、いまだに朝早く起床があって、6時40分だとか7時前の朝食を希望される学校がまだいっぱいある。昔だったら新幹線が「こだま」「ひかり」で動かれていたが、今、「のぞみ」になっていて所要時間がだいぶ変わってきた。京都に滞在する時間が長くなってきたのに、それこそ20年前のしおりがそのまま今年も来ている。ご指導等も多々あると思うが、6時半ぐらいの朝食を提供するには板前は4時ぐらいに出てくる。ほかの係も5時前に出てきたりしている。皆さまが出発して9時以降、今度はその日の夜に到着する学校の準備に入る。1日はそれで終わってしまう。朝食の時間を1回再考し、ご協力いただければ、修学旅行がもっと長く続いて、われわれも十分なサービスをしていける。

関口　昨年度、日本旅行業協会（JATA）から教育委員会などへ修学旅行に関する要望書が出された。要望書に四つの趣旨が書かれてあって、その一つが、各種費用の高騰を踏まえた旅行方面、内容、代金の見直しや繁忙期を避けた実施時期の検討をお願いしまして、という要望だった。これは教育委員会等へ行ったので、そこからまた学校関係へも流れていった。先ほど連合体の話もいろいろと出ていたが、連合体とずっと関わってきている岡田局長から説明をしてもらえれば。

岡田　JATAからの繁忙期を避けた実施の検討をお願いしますという文章を読み、私は、元々修学旅行は繁忙期にやっていないと思った。ゴールデンウイークや盆暮に行っていないし、新幹線の6月は元々閑散期であり、そういう時期も使ってやっているわけなので、それが繁忙期に当たるのかと単純な疑問もある。いま一度このJRの連合体というものを考えていただきたいというのは私の切なる願いだ。

関修委は、1963年、昭和38年に発足した。今、東海道新幹線はもとより、北海道新幹線も東北新幹線、上越・北陸新幹線も全部、コースとして出来上がっている。委員会発足当時から国鉄、JRをはじめ関係省庁の皆さまと密接な関係を維持している。24年度の利用人数は10万7千人だ。

では連合体を使ってのメリットは何かというと、まず1点目は、安心の確保。旅行実施の約1年半前の前年、もう多くのJRは確約をされる。よく先生方は、独自実施でやられる場合、旅行会社に申し込みしたら、もう列車は確約されていると思っている先生がたくさんいるが、違う。実施の1年前にならないと正式な発表は出ない。連合体は、もう1年半前に発表され、確約される。

そして往復の特急料金50%割引となる特典が得られる。経済性の確保だ。万一、自然災害事故等で新幹線等々の運行に支障が出た場合でも、連合体輸送の運行列車は運行再開等最優先でやっていただける。これが安全の確保だ。計画輸送なので、結果的に旅行の分散化につながる。

デメリットは、計画輸送だから、原則として旅行の出発日、実施日、そして乗る列車の時間は学校の自由とはならない、この1点に尽きる。いま一度、特に経済的な部分、そして安全の確保という極力連合体のメリットをよくお考えいただいて、生かしていただきたい。

私どもの理事長が「修学旅行は学校だけではできない」とよく言っている。学校、保護者、生徒、そして旅行会社、受け入れてくれる各施設の方々の総力でもってできるのが修学旅行だ。いろいろな方面の方が関わっているので、いろいろな考え方がある。ただ関わっている方たちの最終的な思いは一つ。修学旅行の教育的な意義を達成することと、そして大切な生徒のと、そして大切なお客さまだ。それで、事故のない安心・安全な修学旅行を続けていただくように、われわれ京都の施設も一生懸命努力はさせていただくけれども、続けていくには、学校のご協力もこれからは必要になってくるのではないか。

関口　増山先生。

増山　冒頭に話したように、今後、修学旅行などに関わる産業界も含めて、少子化というものが非常に大きな影を落としてくる。でも、小学校も中学校も高校も修学旅行というのは、物との出会いとか人との出会いとか時の共有とか非常に大きな価値を含んでいる。子どもたちにとって大きなものだ。将来にわたっての思い出にもなる。なくてはならない行事だ。したがって、子どもたちにとって最適な学びの機会を作るために、これまでの習慣にとらわれずに柔軟な選択を行っていかなければいけないということを今日はしみじみと感じた。国や地方公共団体を含め、われわれ大人たちが子どもたちの成長のためにどのような環境を整えられるのか。これまで以上に知恵を絞っていかなければならないなというのを実感した。

関口　私たちの全修協は、修学旅行の三つの柱として「安全性の確保」「教育性の充実」「経済性の適正化」を掲げてきている。今日の問題は教育性の充実より離れて、条件整備のところが話題になっているのだが、結局そこを解決していかないとどうにもならない現実がある。この討論の中から課題解決の糸口が少しは見つかれば幸いだ。

関西の公立高校164校に導入実績
集金代行サービスのご紹介
Daigas Group

学校の集金業務をもっとラクに!
安心のDaigasグループ

修学旅行費や月々の諸経費の集金に便利な2つのラインナップがあります
学校徴収金システム（日本ソフトウエアマネジメントさま他）とも連携可能

授業料・積立金等の継続した集金に最適
口座振替代行サービス
継続集金をスムーズに
支払いの遅延や未払いのリスク減少に期待できます

模試代・その他臨時で発生する
一時的費用の集金に最適
コンビニ決済代行サービス
全国55,000店舗のコンビニエンスストアで24時間支払いが可能
お支払いの利便性が向上します

さらに ご利用者様より大好評の
WEB口座振替受付サービス
決済システムから出力したQRコード※を読み取ることで
口座振替の受付をするサービスです。
3つのメリット
①口座振替受付がWEBで完了
②WEB上で受付完了するため初回請求までの期間短縮
③口座振替届出書の記入ミスなど不備対応が減少

サービスに関するお問い合わせ・資料請求は下記の専用サイトかお電話でお問い合わせください
OGF 大阪ガスファイナンス株式会社
集金サービスグループ
〒541-0051　大阪市中央区備後町三丁目6番14号
（アーバネックス備後町ビル内）
【集金代行サービス専用サイト】https://shukin.ogfi.co.jp/
0120－112308
【受付時間】9:00～12:00/13:00～17:40（土日祝日・年末年始休業日を除く）
※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。